

豊橋市民病院



□ 主な連携施設

【連携施設】

名古屋市立大学病院
あいち小児保健医療総合センター
豊川市民病院
蒲郡市民病院
愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院

【関連施設】

豊橋医療センター / 新城市民病院 /
豊橋市こども発達センター / 豊橋市保健所保健センター

病院長名	浦野 文博
所在地	〒441-8570 愛知県豊橋市青竹町字八間西 50 番地
交通案内	豊橋鉄道バス「豊橋市民病院線」 ◇のりば 豊橋駅前・・・7 番 ◇所要時間 約 15 分 ◇料金 大人片道 300 円

□ 病院の特徴

豊橋市民病院は一般病床 780 床を有する愛知県東三河医療圏の中核病院として救命救急センターを有する三次救急医療機関で、地域医療支援病院、DPC 特定病院でもあります。

2016 年には高度放射線治療棟が完成し、放射線治療・検査機能が向上しました。また、手術センター棟が増築され、ハイブリッド手術やロボット手術等により適した設備環境が整備されました。また 2024 年に東三河で初の感染症病棟が完成し、安心して治療にあたる事が可能となりました。

専門医取得のため、指導体制や必要な症例、設備面において十分な体制を整えています。皆さんと一緒に働けることを職員一同心よりお待ちしております。

□ 研修プログラムの特徴

小児科

【プログラム名】

豊橋市民病院小児科研修医（専攻医）プログラム

【研修目標】

『小児科医は子どもの総合医である』という基本姿勢に基づき、研修期間内に

- 『子どもの総合診療医』
- 『育児・健康支援者』
- 『子どもの代弁者』
- 『学識・研究者』
- 『医療のプロフェッショナル』

の 5 つの資質を備えた小児科専門医の育成を目指します。

【研修期間】 3 年間

研修修了後も当院にて継続的にサブスペシャリティ研修が可能です。

【研修スケジュール】

3 年間のうち 6 カ月以内の連携施設研修を行います。

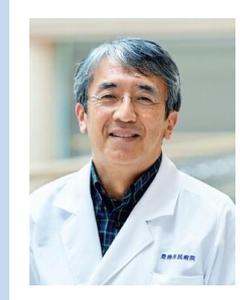
□ メッセージ

指導医（副院長兼小児科第一部長 村松 幹司）

当院は東三河地域の小児三次救急医療機関で新生児から感染性疾患、内分泌代謝疾患、アレルギー疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、腎泌尿器疾患、循環器疾患、神経疾患、発達障害、保健・行政など広く様々な分野の研修ができます。

また特殊な疾患に関しては名古屋市立大学病院やあいち小児保健医療総合センターとも連携しています。

主治医になって主体的に診療を行っていただきます。少し忙しいかもしれませんが、忙しくても頑張ってくれる、やる気のある若い力、大歓迎です。



□ 募集要項

・採用予定人数	5 人
・給与／月額	平均支給総額 約 791,000 円 うち基本支給額 331,300 円（2023 年度実績）
・当直回数／月	4~5 回（小児科・ER 直）
・当直手当／月	約 198,000 円（2023 年度実績）
・その他	給与の他、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当など、各種手当が支給されます。
・応募連絡先	担 当 豊橋市民病院 専門医研修センター 電話番号 0532-33-6330 E メール senmon-i@toyohashi-mh.jp